

令和8年 第1回五ヶ瀬町議会定例会 一般質問

期日：令和8年3月5日（木）午前10時～

場所：議場

通告 番号	議員名	・質問事項（執行部答弁書 要/不要）
1	渡邊 孝	・五ヶ瀬ハイランドスキー場運営に対する運営補助金について（要）
2	黒木 孝次	・行政事務連絡員報酬について（要）
3	小笠原 将太郎	・防災行政無線の活用について（要）

一 般 質 問

順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問相手
1	渡邊 孝 (議席番号：7)	1 五ヶ瀬ハイランドスキー場運営に対する運営補助金について	<p>新聞報道によると、国内で営業しているスキー場は現在約 417 カ所で、1999 年の 698 カ所からこの 26 年間で、その 4 割にあたる 281 カ所が閉鎖したそうです。</p> <p>その要因としては、地球温暖化による雪不足や、施設の経年劣化に伴う費用の増加、スキーヤーの減少、人工雪を作るための電気代や燃料代、人件費、また施設の維持管理費といった様々な費用の増大が大きく影響したとされています。</p> <p>本町のスキー場においても同様に、経営上の費用が今後ますます増額していくと予想されます。</p> <p>また、今シーズンは雨不足により、雪づくりに必要な水の確保が困難となり、思うように造雪作業ができず、1,000m滑走コースの営業開始が昨年より 19 日遅れたとのことです。</p> <p>令和 8 年度、五ヶ瀬ハイランドスキー場の営業に必要な運営補助金の金額と事業の計画及び内容について、次の事項について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和 8 年度スキー場の運営補助金の金額と財源について <ul style="list-style-type: none"> ・総予算額の上限 ・財源 2 運営補助金の金額算出の根拠について <ul style="list-style-type: none"> ・目的や必要性 ・事業予算の判断内容 3 運営補助金の事業予算決定にあたり、市民の多様な意見は参考にされたのか。 4 運営補助金投入について、スキー場経営の専門的知識を有するコンサルティングを受ける考えは。 <ul style="list-style-type: none"> ・経営現状の分析と診断、将来の展望など 5 運営補助金投入による、スキー事業への効果と期待は。 	町長

一 般 質 問

順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問相手
2	黒木 孝次 (議席番号：2)	1 行政事務 連絡員報酬 について	<p>行政事務連絡員は、地区の代表であり、地域のまとめ役、役場との連絡員として活動されており、また行事の参加等で多忙に追われている状況である。</p> <p>その中で報酬は四半期に1回支払われている。</p> <p>このことから、以下の3点について町長の考えを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1 報酬が四半期ごとに支払われる理由について2 報酬を毎月支払う考えについて3 今後増額の考えについて	町長

一 般 質 問

順	質問者	質問事項	質問の要旨	質問相手
3	小笠原 将太郎 (議席番号：5)	1 防災行政無線の活用について	<p>住民の生活に密着した防災行政無線は、県及び市町村が「地域防災計画」に基づき、それぞれの地域における防災、応急救助、災害復旧に関する業務に使用することを主な目的としているが、併せて、平常時には一般行政事務に使用できる無線局とある。</p> <p>中山間地域や地方に住む人々にとっては重要な情報伝達方法である。</p> <p>このことについて、次の3点を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none">1 放送についての規定などはあるのか。2 住民が行う各種イベントの告知を放送することはできないのか。3 放送内容は防災無線以外で知ることはできるのか。	町長